

平成二十六年 度 日高看護専門学校 入学試験問題

〔一 般〕

〔国 語 総 合〕

(時間：六十分)

《注意事項》

- 1 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があります。監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
- ① 氏名欄に、氏名・フリガナを記入してください。
- ② 番号欄に、右詰めで受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしてください。
正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。
- 3 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしてください。
国語の問題は全部で三七問あります。解答用紙の問一から問三七までの解答欄を使用してください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了後に問題冊子を回収しますので持ち帰らないでください。
- 6 問題冊子の所定の欄に受験番号を記入してください。

受 験 番 号

一 次の問いに答えなさい。解答番号は①～⑤。

問一 次の作品の中で、作品の書かれた時代が違つものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は①。

- ① 今昔物語集 ② 宇治拾遺物語 ③ 伊勢物語 ④ 更級日記

問二 次の書き出しで始まる作品の題名を選び、番号で答えなさい。解答番号は②。

私は自分の仕事を神聖なものにしようとしていた。ねじ曲がろうとする自分の心をひっぱたいて、できるだけ伸び伸びしたまっすぐな明るい世界に出て、そこに自分の芸術の宮殿を築き上げようともがいていた。

- ① 人間失格 ② それから ③ 夜明け前 ④ 生まれ出づる悩み

問三 次のうち、敬語の使い方が誤っているものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は③。

- ① 先生のおっしゃったことは、決して、忘れられない。
② あなたの申し上げることは、傾聴に値する内容です。
③ 父が、先生に事情をお話するようにと、申しました。
④ 母は、もうじき参りますので、召し上がって下さい。

問四 「深謀遠慮」と同じ漢字の構成で成り立っている四字熟語を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は④。

- ① 勸善懲惡 ② 用意周到 ③ 自給自足 ④ 喜怒哀楽

問五 次の傍線部の語句と同じ品詞が用いられているものを、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は⑤。

⑤。

路傍の小さい花を愛でる感性が、大切だ。

- ① 看護婦になって、多くの人の役に立ちたい。
② 夢を実現させるために、しっかりと勉強する。
③ それらの出来事の間に、直接の関係はない。
④ 困難に直面しても、元氣な心を持ち続ける。

二 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。 解答番号は 6 ～ 22。

私は田舎の家で生まれた。取り上げてくれたのは近所のお婆さんであった。私を産んだ母は、出産をしたのとなじ部屋で私が三歳のとき肺結核のために死亡した。

それから三十年後、私が生まれ、母が息を引きとった部屋で、母に代わって私を育ててくれた祖母の最期を看取った。彼女もこの部屋で、私が産まれたときには既に^aコジン^aになっていた祖父の最期を見とどけていた。

改築を繰り返したので昔のおもかげは薄れてしまったが、死ぬときはできればあの部屋で死にたい、と思う。

以前、家というものの中には、誕生と死が同居していた。数多くの生と死を見てきた節穴のある天井や黒光りする床柱は、人間の一生のはかなさをその家の住人に無言で教えていた。

今、誕生も死も、ほとんどが病院という、ふだんの生活とは^bカクゼツ^bされた場所^cで^cシヨリ^cされるようになってしまった。ローンで建てた新建材の家の天井も柱も、人生で最も大事なことを教えることができなくなった。誕生と死の扱い方に限ってみても、何千年も変わらなかった生活の仕方を、ただか数十年の間に、これほど急に変化させてよいのだろうか、という気がしてならない。

小さな説【注……小説のこと】しか書けない男が偉そうなことを言うつもりはない。ただ、川を流れているゴミにだって、ときには、こんなに速く流れていいのかな、と疑問に思うことくらいあるだろう、と言いたいのである。

川といえば、医者になって三年経った頃、いくらかノイローゼ気味になっていた私を治してくれた名医が、ほかならぬ川であった。

真面目な学生ではなかったが、国家試験を一度でパスする程度には勉強していた医学生時代、病気に関する講義は嫌になるほど聴いた。A、人間は遅かれ早かれ、生まれたからには必ず死ぬのだ、という単純な事実を分かるように教えてくれる講義はなかった。

ターミナルホスピタルである総合病院に研修医として勤め始めてみると、治る病気は教わったマニュアルの適用を間違わなければほとんど自然に治っていった。そして、まるで目の粗いフルイにかけられたように、治らない病気が残り、いかに努力してみても患者さんたちは亡くなっていった。

長男が生まれた頃、私は死のことばかり考えていた。

妻を手伝って、生まれて数ヶ月の長男を風呂に入れていると、病院からの呼び出しの電話が鳴る。病棟で患者さんの最期を看取って帰宅すると、新しい生命は妻の乳房を一所懸命に吸っている。数時間の間に、人生の^d出発と^dリ^dン^dジュウの光景を交代に見せつけられる生活を繰り返しているうちに、思考が停止してしまった。

ある日、病院の中にこれ以上居続けていると発狂しそうな気がして、裏を流れる川の岸に出てみた。そんな精神状態でも空腹だけは感じていたから、売店でパンと牛乳を買うのを忘れなかった。

おだやかな初夏の陽光を体一杯に受けて、川岸の石に腰をおろし、パンをほおばりながら川面を見ていた。じつくり川を見るなんて何年ぶりだろう、と記憶をたどってみたが、想い出せない。近くにありすぎる自然を見つめるのは、肉親の本音を聞くときのように、正常な精神の生活者にとってはいささか恥ずかしいことなのかも知れない。

水の。ハンシヤに目が慣れてくると、水中の様子がよく見えてきた。生まれたばかりらしいハヤの子たちが浅瀬に群れていた。これから待ち受けているはずの^I自然淘汰の荒波も知らぬげに、精一杯水流に逆らっていた。

そして、さらに深い流芯を、魚体を銀色の光らせながら、アユの群れが泳いでいた。たった一年しか生きないこの魚たちも、自分たちの受けた貴重な生を完全に燃焼しつくそうとしているかのように、鋭い泳ぎで上流に登っていた。

川岸の乾いた砂の上に、パックの牛乳をストローで飲んでいる私の猫背の影が映っていた。静止し、活気のないその影を見ているうちに、なぜだか目頭が熱くなってきた。思考するのを^fキョヒしていた頭の中に、生命の誕生と死の間を結ぶ川のようなものが流れ出した。

「あいつらとおんなじなんだ」

ほとんど声に出して叫びたい^gシヨウドウを抑え、大きな深呼吸を二、三度してから、私は背を伸ばし、一歩一歩に力を込めて病院にもどった。

それ以来、なにかあると川を見る。川岸で猫背の男が^{II}うつろな目をしてしやがみ込んでいるのは、他人に余計な心配をかけることになるので、釣りを始めた。私の釣りは川を見るのが目的なのである。

誕生が山の湧き水だとするなら、死は海であり、人生は川の流れそのものだと言えるだろう。最も多くの水をたえ、その一部を^hジヨウハツさせて雨に変え、また川を流れ下らせる。やはり基本は海、すなわち、死なのかも知れない。

人間は川の流れに乗った考える藻にすぎない。どんなに考えたところで、川は海に向かって流れて行く。それならば、まず流されている自分を自覚するところから、考えることを始めればいい。

生まれたばかりのハヤの子や、短命のアユ、そして、流れている川そのものが、生きることには疲れたふりをしていた私に、¹貴重な忠告をくれたのだった。

おなじ頃に小説を書き始めたので、私の書くものには、川から得た死生観が色濃く影を落としてしまう。

たとえば、子を産む女性を登場させるとき、彼女が心のどこかに、哺乳類の雌としての自分を自覚している、という描き方をする。一匹の哺乳類として子孫を残せたことに対する生物としての根源的な安心感、満足感。子に乳房を含ませている母親の表情にあの独特のⁱヨユウを与えているのは、こういった感情ではないか、という気がしてならない。

B、若い女性の口から、仕事があるので、結婚しても子供は三年間造らない、などという言葉や聞くと悲しくなってくる。子供は人間の頭で造るものではなく、哺乳類の一員として子孫を残すべく、自然を支配する大いなる法則によって授かるものなのだ、という謙虚さが必要ではないか。

ところで、哺乳類の雄としての男の役割は、と考えてみると、なんとも情けなくなるほどイメージに乏しい。雌が安心して子孫を残せるように、しっかりエサを確保してやること、とでもするしかないようだ。

自ら子を産むことのできぬ男たちは、もしかしたら、一生自分が哺乳類の一員であることを本質的に理解できないまま死んで行くのかも知れない。

老人の患者さんたちを多く見てみると、自分の運命を自然の力にゆだねてしまった、いわゆるふつきれている人は、多くが女性であるのに気づく。男性たちは最期まで幼児のように、ふつきれない人が多いようだ。どう見ても男は悲しい存在である。もし生まれ変わるなら、今度は女性に、と想うのだが、この想像をするたびに気分が悪くなるので、いつも チュウダン^jしている。

精子を放出するだけで、あとは俗世間をとり回っているだけの男。

子宮の中で、人類の進化の様子を十ヶ月の間に再現し、新たな進化を産み出す女。

女子と小人は養いがたし、などと口にしながらか、最期までふつきれない男。

自分の腹の中で育った子孫に看取られて、静かに海に流れ入る女。

これだけ違う両者の共同生活に波風の立たないはずはない。

朝に死に、夕に生るるならひ、ただ水の泡にぞ似たりける。

『方丈記』の死生観に、男女が互いに一匹の哺乳類にすぎない、という謙虚な自覚が加われば、そこに出てくる人生の最低必要条件は「やさしさ」しかない。

² やさしさ、という生存に不可欠な言葉を、あえて持ち出さなくてもよい時代が、人類にとって最良の時代だといえるのではないか。

(南木佳士「ふいに吹く風」より)

問一 傍線部 a～j と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | | |
|---|--------|---|---|-----------------|---|----------------|
| a | コ ジン | ⑥ | ① | コ ベツに相談する。 | ② | コ ジ成句を調べる。 |
| b | カ クゼツ | ⑦ | ① | 道具をソウコ にしまう。 | ④ | コ カゲに入って涼む。 |
| | | | ③ | カク シュウで稽古に通う。 | ② | ゴカク の勝負を挑む。 |
| | | | ③ | あれこれとカク サクする。 | ④ | 物事のカク シンに迫る。 |
| c | シ ヨリ | ⑧ | ① | シ ヨセンは子どもに過ぎない。 | ② | シ ヨシンに返って学ぶ。 |
| | | | ③ | シ ヨセイの術を身につける。 | ④ | 書類の最後にシ ヨメイする。 |
| d | リン ジュウ | ⑨ | ① | リン ジンとあいさつを交わす。 | ② | リン ジの会議が開かれる。 |
| | | | ③ | 法律ではなくリン リの問題だ。 | ④ | リン バンで警備にあたる。 |
| e | ハン シヤ | ⑩ | ① | 心からシヤ イを表す。 | ② | 神秘主義にケイシヤ する。 |
| | | | ③ | 例外事項はシヤ ショウする。 | ④ | エネルギーをホウシヤ する。 |
| f | キヨ ヒ | ⑪ | ① | 素材のテキヒ を判断する。 | ② | ヒガ イの状況を調査する。 |
| | | | ③ | ヒル イない経験をする。 | ④ | 政策のゼ ヒを論じる。 |

g ショウドウ 12

① 関税のショウヘキを撤廃する。

② 作業のショウリョクをはかる。

h ジョウハツ 13

③ 労使間でのセツショウが始まる。

④ ショウサンに値する行為だ。

① 相手より先にジョウホする。

② 規約のジョウコウを確認する。

③ 天然水をジョウリユウする。

④ ガンジョウな馬を連れている。

i ヨユウ 14

① ユ|ボウな企業を探す。

② ユ|ガな生活を送る。

③ ユ|ゼンと構える。

④ ユ|フクな家庭に生まれる。

j チウダン 15

① トクダン|の配慮をする。

② ヨダン|を許さない状況だ。

③ 不正行為をキュウダン|する。

④ 排水問題をダン|パンする。

問二 空欄 A・B にあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号は 16・17。

A 16

① そして

② あるいは

③ あるいは

④ しかし

B 17

① また

② もつとも

③ だから

④ しかも

問三 二重傍線部 I「自然淘汰」・II「うつろな」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号は 18・19。

I 18

① 一定数のものは自然に消えていくこと

② 劣勢のものは自然に滅びていくこと

③ 自然の中での激しい競争になること

④ 互いに競争し合って数を減らすこと

II 19

① 焦点の合わない

② ぼんやりした

③ 狂ったような

④ 生気のない

問四 傍線部 I「貴重な忠告」とあるが、その内容として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は 20。

① 人間も、ハヤの子や短命のアユのように、死という海へ向かう川の流れに逆らって、登っていくことができるという点。

② 自分たちの受けた貴重な生を完全に燃焼しつくそうとしている魚たちのように、人間も、生きるべきであるという点。

③ 人間は、必然的に死という海に向かって流されている存在であることを、自覚することからはじめればよいということ。

④ 生命の誕生と死の間が川のようなもので結ばれているということに、人間だけが考えを及ぼすことができるということ。

問五 傍線部2「やさしさ、という生存に不可欠な言葉を、あえて持ち出さなくてもよい時代が、人類にとって最

良の時代だといえるのではないか。」とあるが、なぜ、筆者はそうように考えるのか。その理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は21。

① やさしさが人類の生存において当然に充足されているものであれば、あえて言葉として持ち出さなくても済むようになるから。

② 人類がただの哺乳類に過ぎないということを自覚できれば、やさしさというものはあえて意識しなくて済むようになるから。

③ 生から死へと流されることしかできない人類にとっては、やさしさという言葉もまた、流れ去るただの空想に過ぎないから。

④ 死という海に静かに流れ入るにはやさしさが不可欠であるが、言葉としてあえて持ち出さなくても、それは心に備わるから。

問六 この文章の表現の特徴として、最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は22。

① 具体的な描写を多用することで、専門家としての見解を説得的に説明している。

② 自らの経験を起点にすることで、大局的な視点への読み手の共感を誘っている。

③ 比喩や擬態語を効果的に用いて、自らの感動をありのままに描き出している。

④ 技巧的な表現を駆使することによって、複雑な事象をわかりやすく伝えている。

三 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。 解答番号は23～37。

「所与の知識」は、学校に通う年齢になってから勉強するものがほとんどだ。科学的な知識だの、外国語の知識などである。

A、生きるための基本的な知識は、もともと幼いころ、母語習得とともに身につけることが多い。そこに生命的な知の原点がある。

生命的な知とは、本来、本能的、身体的なものである。敵から逃げたり、エサを探したりするための知がもつとも基本的なものだ。つまり、知とは生物が生きるための実践的な価値とかわつており、「真理」といった普遍的かつ超越的な価値を反映した天下りの知は、むしろ歴史的、文化的、宗教的な所産である。権威づけられた「所与の知識」も、その基盤は、いわば、人間が社会的にこしらえあげたものに他ならない。

アこのことは、古代、中世、近代をつうじて変わらない。現代の科学技術に支えられたいわゆる「客観世界」も、実は、われわれ人間が^aソウゴにコミュニケーションしあいながら生きていくための便利な約束事、くらいに考えたほうがよいのだ。

われわれが信じている客観世界のイメージには、ホモサピエンスという生物種の身体器官の特徴が色濃く^bトウエイ^cされている。べつに絶対的なものではない。生物ごとに住む世界のイメージが異なるのは、二〇世紀はじめに生物学者ヤーコプ・フォン・ユクスキュルが喝破したとおりだ。このことを認めないと、人間以外の動物（かつては有色人種もふくまれていた）は客観世界にすむ機械的存在だという思いこみさえ、通用することになるのである。

イにもかかわらず、われわれはとかく、唯一客観的な世界が存在しており、科学的な¹しかるべき¹手続きによって、そのありさまを認識できると考えがちだ。アカデミックな訓練をうけた学者でさえ、客観世界を正しく認識し操作するためには論理的、実証的手続きが大切であり、それを可能にするのが分析的な言語であると固く信じこんでいる場合が多いのだ。

こういった考え方からすると、幼児が生きるために身につける学習も、客観世界を正しく認識するための第一歩ということになる。母語学習も、子供がやがて学校に行つて、客観世界を記述する高度な所与の知識をきちんと身につけるための準備なのだ。とすれば、幼児には効率的に「正確な概念学習」をさせなくてはならない。

このような¹常識的信念¹が、子供が²世知辛い世²の中で生き抜くために、それなりの実践的意義をもつことは確かだろう。だが、問題とするのは、専門知と集合知の関係、さらに二十一世紀情報社会のコンピュータと人間の関係である。これらを根本的に考えるためには、常識的信念に安住しているわけにはいかない。

発達心理学の泰斗ジャン・ピアジェの流れをつぐ認知心理学者エルンスト・フォン・グレーザーズフェルドは、客観世界という前提なしに幼児の母語学習を論じている。その考え方は「ラディカル構成主義」とよばれるものだ。これによれば、人間は世界についての知識を外部から獲得するのではなく、世界のイメージを「内部でみずから構成していく」ということになる。

B、ラディカル構成主義において、人間の認知活動とは、外部の客観世界のありさまを直接見出すことでは

ない。大事なのは、試行錯誤をつうじて周囲状況に「適応」することなのである。ここで「適応」というのは、何らかの行動をした結果を自分の世界イメージにフィードバックすることだ。自分の概念構造にもとづいて行動してみて、うまくいけばそれでよし、失敗したら概念構造を変更するのである。

⑦たとえば、鍵をあけるととき、かならずしも鍵穴に合致した鍵を用いる必要はない。針金をうまく操作しても鍵はあく。鍵をあける目的のために、ある人は鍵の種別を記憶するし、べつの人は針金の操作法を修得する。内部で構成される世界イメージは各人ごとに異なるのである。つまりは鍵をあけられればよいのであり、鍵穴にあった正確な鍵を選ぶというのは唯一解ではない。

およそ、生物はそうように進化してきた。肉食獣からのがれるために、ある草食獣は脚が早くなったし、べつの草食獣は巣穴に隠れる術を身につけた。生物種ごとに構成する世界イメージは異なるのであり、それをフォン・ユクスキュルは環世界 (Umwelt) と命名した。生物種のあいだでも個体のあいだでも、世界イメージが多様な点では変わりがない。

⑧実際よく考えてみれば、ラディカル構成主義の理論をまつまでもなく、地上にもともと存在するのは、各個人の X イメージだけだということは、むしろ明らかではないか。所与の客観世界というのは、何らかの社会的必然性から生まれた仮構なのである。

ネットが普及し、客観世界を記述すると称する知識命題があふれ返る時代には、まず頭を冷やして、このことを銘記しなくてはならない。

にもかかわらず I T 関係者のあいだで、近年ふたたび、客観世界を前提とした汎用人工知能の夢が語られるのはなぜだろうか。

彼らはどうやら、二〇世紀末に思考機械としての人工知能が、ザセツしたのは、Y と思いこんでいるようだ。今や、地球上の無数のコンピュータ群をインターネットで結び、あらゆる知識を高速検索することが可能になったのだから、ついに人間をしのぐ知力をもったコンピュータ・システムが誕生するはずだ、という。モウソウである。高速ネット検索エンジンの信奉者のなかから、ときどきこういうナイーヴな主張が聞こえてくる。なかには、そのエン Chow 上に集合知が自動発生すると勘違いしている連中さえ少なくない。

結論からいえば、²これはまったくの誤りである。知識命題が一台のコンピュータのメモリに格納されているように、全世界のサーバに散在していようと、問題の本質は変わらない。

人間 (生命体) の知と機械の知とを分かť境界線について目を凝らさないかぎり、真の集合知の利用法も見えてこないのである。

(西垣通「集合知とは何か」より)

問一 傍線部 a、e と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。

a ソウゴ 23

① カゴを防止する。

② 友人をベンゴする。

b トウエイ 24

③ ゴカンでできる部品を使う。

④ 有能ぶりをゴウゴする。

c ザセツ 25

① あえてギャクセツを採用する。

② 自然のセツリを実感する。

d モウソウ 26

① 捜査のモウテンをつく。

② いい加減なモウゲンを吐く。

e エンチョウ 27

① 中心からシユウエンへ広がる。

② 神社のガイエンを歩く。

③ 雨で電車がチエンする。

④ 勢力が地域のイチエンに及ぶ。

③ クセツも十年を過ぎた。

④ キョクセツを経て達成する。

③ モウゼンと駆け出す。

④ 神経をシヨウモウする。

① 中心からシユウエンへ広がる。

② 神社のガイエンを歩く。

③ 雨で電車がチエンする。

④ 勢力が地域のイチエンに及ぶ。

問二 空欄 A・B にあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号

は 28・29。

A 28 ① そして

② なぜなら

③ したがって

④ だが

B 29 ① つまり

② もっとも

③ しかし

④ あるいは

問三 二重傍線部 I「しかるべき」・II「世知辛い」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答

えなさい。解答番号は 30・31。

I 30

① 規定の

② 適当な

II 31

① 認知された

④ 確定している

① 金銭に細かくけちな

② 厳格な知識を求める。

③ 世渡りが難しい

④ 非常識な人には辛い

問四 空欄 X にあてはまる語として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は 32。

X 32

① 客観的

② 主観的

③ 分析的

④ 絶対的

問五 空欄 Y にあてはまる語として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は 33。

Y 33

① コンピュータの速度が遅かったためだ

② 検索エンジンの性能が劣っていたためだ

③ 利用できる知識の量が不足していたためだ

④ 唯一客観的な世界を否定したためだ

問六 この文章からは、次の一文が抜けている。ア～エのどこに戻すのが適切か。番号で答えなさい。解答番号は

34。

ポイント は、所与の概念構造への一致は要求されない、という点だ。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問七 傍線部1「常識的信念」の内容について、筆者の考えと**一致しないもの**を次から選び、番号で答えなさい。

解答番号は 35。

- ① 客観世界を記述する高度な所与の知識があれば、幼児の母語学習は不要である。
② 論理的、実証的な手続きこそ、唯一客観的な世界を認識する科学的な手続きである。
③ 科学的なしかるべき手続きによれば、唯一客観的な世界を認識することができる。
④ 分析的な言語を用いることで、客観世界を正しく認識し操作することが可能である。

問八 傍線部2「これはまったくの誤りである」とあるが、筆者がこのように言うのはなぜか。理由として最も適

切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は 36。

- ① 現在の高速ネット検索エンジン程度の性能では、膨大に蓄積された知識を、汎用人工知能を実現するほどに利用することはできないから。
② 人間の知と機械の知とは、唯一の客観世界を認識する方法が根本的に異なっており、機械の知で人間の知を代替することはできないから。
③ 人間による世界への認識を再現する汎用人工知能を実現するためには、全人類の所与の知識をコンピュータに集積しなければならないから。
④ 人間にとって所与の客観世界は仮構であり、客観世界を前提とするコンピュータには人間と同じように世界を認識することはできないから。

問九 本文に書かれている内容として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は 37。

- ① 所与の知識によつて認識できる世界は人間が構築した仮構に過ぎないから、幼児の頃から知識の獲得を目指す必要はない。
② 人間の知が認識する世界は、機械の知が認識しようとする唯一客観世界とは異なるということを意識することが重要である。
③ 人間の認知活動とは、行動に失敗して外部の客観世界に適応できない場合、都度、行動の方法を変えようとするものである。
④ 機械の知による世界認識方法と、人間の知によるそれは同じであることから考えれば、汎用人工知能の実現は可能である。